

THE ♡ 1983 8 KOBECO

AUGUST No. 268

月刊神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和58年8月1日印刷 通巻268号
昭和58年8月1日発行 毎月1回1日発行



Beniya
the ladies fashion of the four seasons creative design

'83 BENIYA BRILLIANT MODE

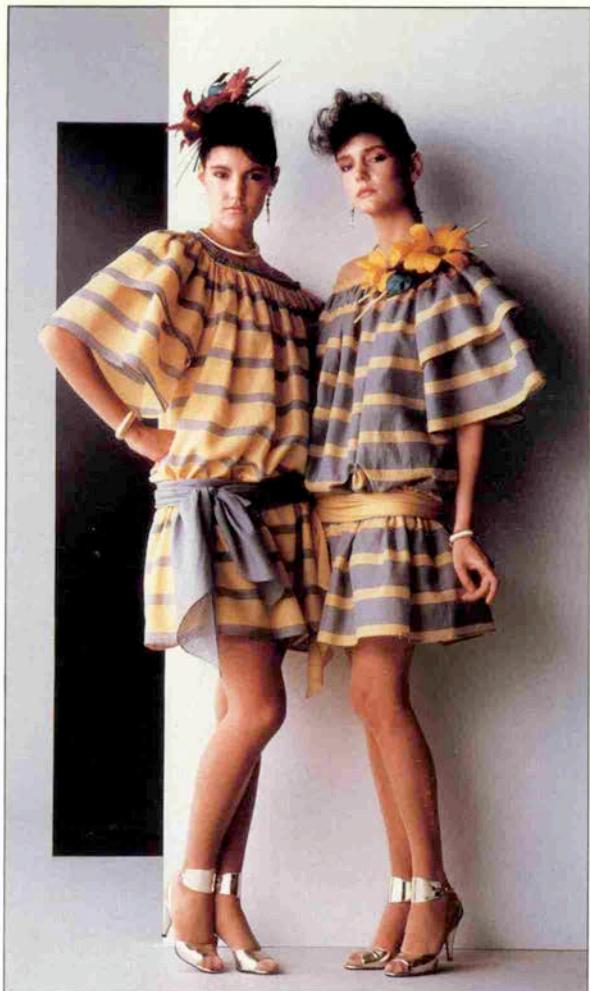
真夏の夜の夢へ。

時には甘美、時には辛辣、見ないにこしたことはない
あの真夏の夜の夢へ。

冒險みたいにいざなうのがファッショソかもしません。
△△△△△のサマー・バフオーマンス

セクシャルシリーズ――

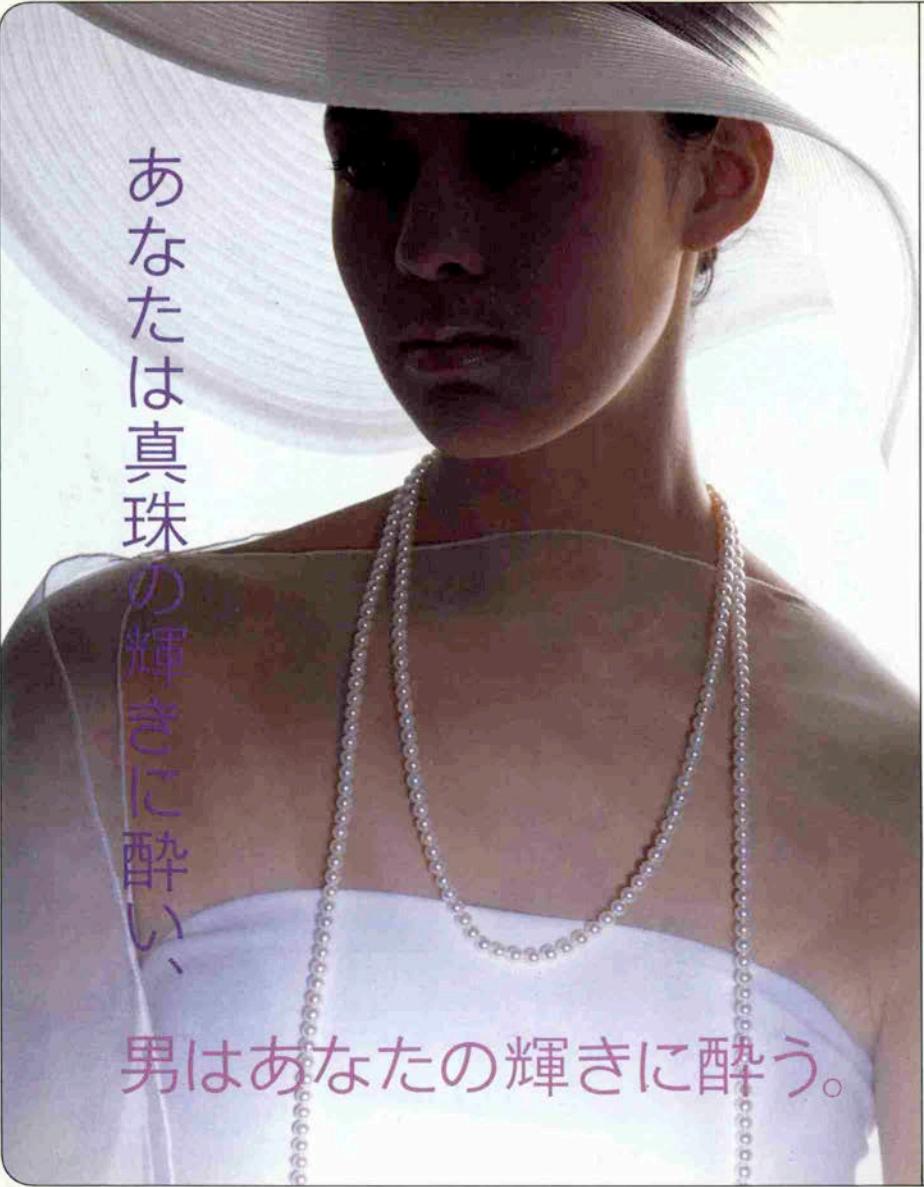
見るにこしたことのない個性のドラマの
ファンタジックなクライマックスです。



BENIYA

KOBE・OSAKA・TOKYO

本店/神戸市中央区三宮センター1丁目ニューセンター1F・2F ☎332-2135



あなたは真珠の輝きに酔い、

男はあなたの輝きに酔う。



田崎真珠

MIKIMOTO

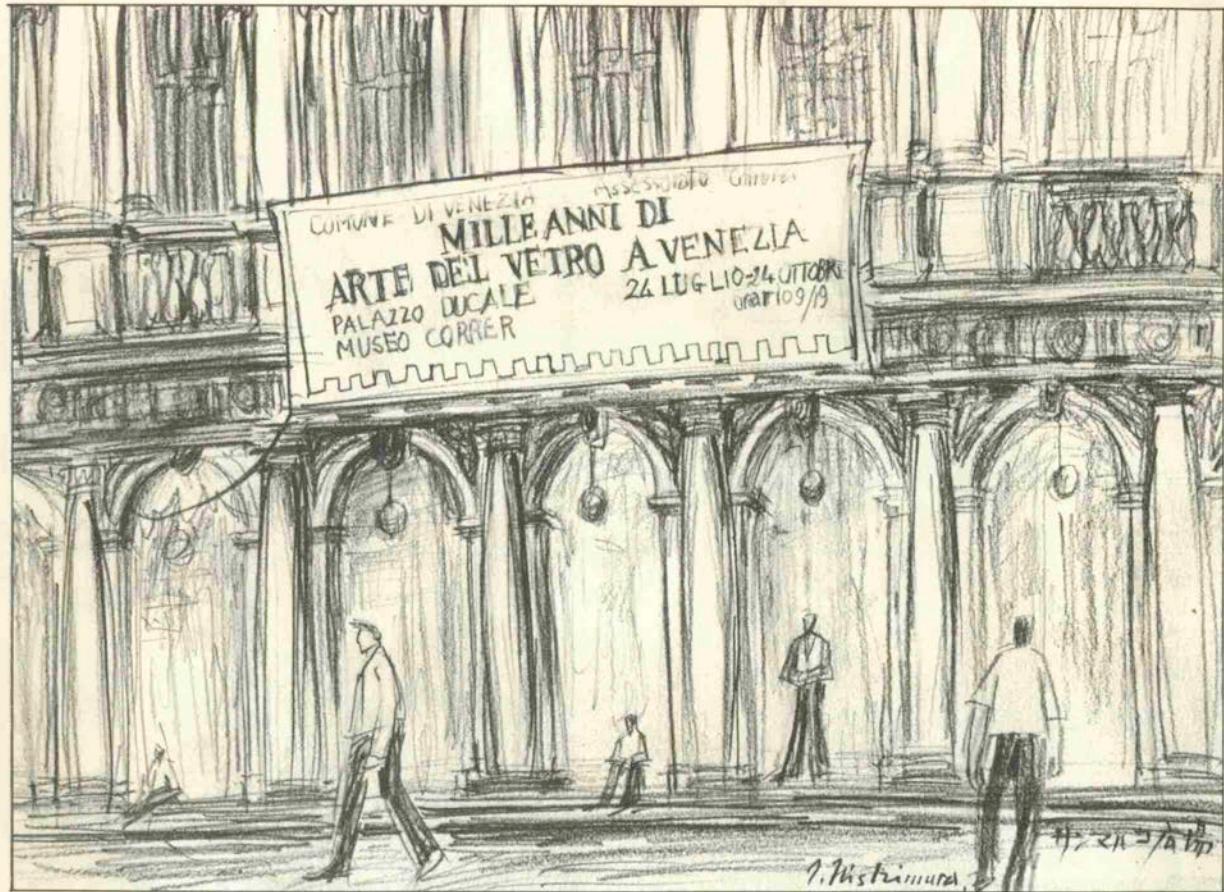


襟もとが、涼しくなりそうです。

スケッチブックから(56)

●ヨーロッパを描く

サンマルコ広場



絵・西村 功

第4回特別展

びいどろ・ぎやまん展

— 清涼な異国趣味 —

昭和58年 8月2日(火)ー9月4日(日)

午前10時ー午後5時(入館は午後4時30分まで)月曜休館

観覧料／一般 600円 (500円) 高大生 400円 (300円)

小中生 300円(200円) ()は前売料金及び30名以上の団体料金

主催／神戸市立博物館・神戸市教育委員会



薩摩切子紫色被せガラス杯
江戸時代末期 びいどろ史料庫蔵

切子、段重、徳利、くし、くんざし、風鈴、ガラス絵、浮世絵など江戸時代に日本でつくられたガラス器や関連資料を展示いたします。

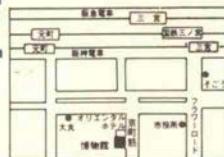
神戸市立博物館

神戸市中央区京町24番地

☎ (078) 391-0035

■新幹線「新神戸」から南へ車で10分

■国鉄「三ノ宮」「元町」から南へ徒歩約7分



日本で初めて会議場・展示場・宿泊施設が
一か所に集合した……

神戸コンベンションセンター



すてきな施設・機能をお手軽にご利用ください

ポートアイランド神戸国際会議場・神戸国際展示場

◆会議場…700席のメインホール、120名の国際会議室から20名の会議室まで大小8室、6控室、レセプションホールを完備。各種会議、研修会、講演会等に最適。駐車場200台(有料)。6カ国語同時通訳設備有。

◆展示場…展示面積1、2階各3,000m²。大型の展示会からファッション関係などソフトな展示会、4,000人程度の集会、大会等に最適。2階には柱がなく天井からの自然採光で、広々と明るく利用できます。1700m²と1300m²に分割使用も可能。駐車場600台(有料)。

お申し込み・お問い合わせ

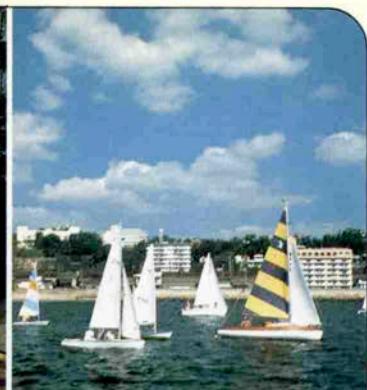


神戸国際交流協会

〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9-1

(神戸国際会議場内)

☎ (078) 302-5200



碧い空と海、白い砂浜との眼のさめるような素晴らしいコントラスト、真夏の光あふれる海辺の美しい眺め、六甲山麓の緑ゆたかな自然の中に息づく穏やかなたたずまい——それは自然の恵みに包まれた抜群のロケーションです。

生きるっていいな。



21世紀の暮らしを提案する

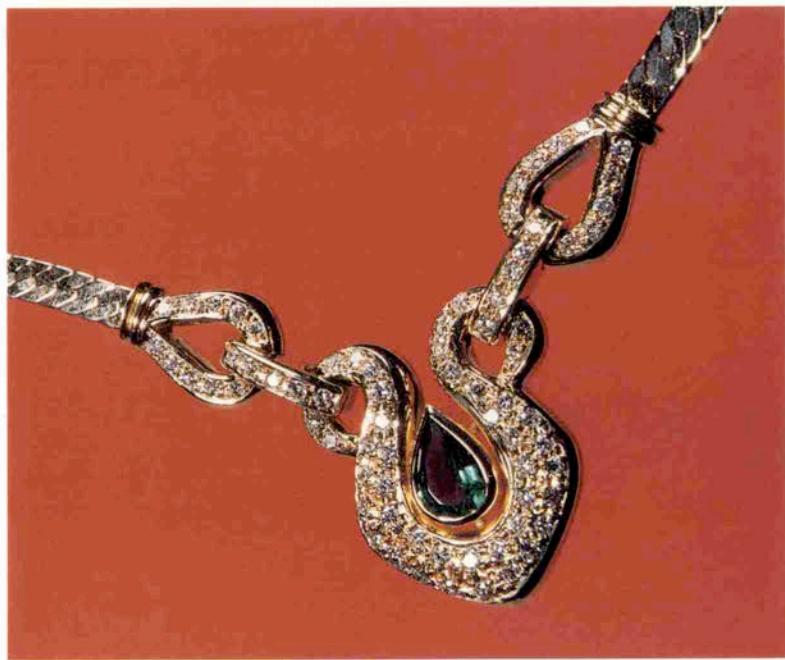
株式会社 南インターナショナル

- 本社 〒651 神戸市中央区浜辺通5丁目1-14 神戸商工貿易センタービル17階
PHONE 078-232-1301代
- 東京支店 〒150 東京都渋谷区猿楽町29-18 ヒルサイドテラスB-8
PHONE 03-496-8000
- 名古屋支店 〒460 名古屋市中区栄1丁目12-10 フジミファーストビル301号
PHONE 052-203-1018

シーサイドパレス塩屋が南仏のコート・ダ・ジュールを想わせるように、六甲グランドパレス高羽は、古寺の屋根ごしに緑鮮やかな竹林がバルコニーから望まれ、六甲の麓にありながら、京都・嵯峨野を想わせる趣きが住む人々の心をなごませます。



夏・パッショń



Tajima
宝飾店 タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761代表

一粒の真珠のように

加本 夏紀

（'83代表バールプリンセス）カメラ・後藤 孝

初夏の光まばゆい6月17日、ポートアイランドの神戸国際交流会館メインホールで開かれた「'83バールプリンセス最終審査会」（社日本真珠振興会主催）で加本夏紀さんは3代目代表バールプリンセスに選ばれた。

神戸生まれ神戸育ちの神戸つ子。現在、神戸女学院大学英文学科4年。母親の友人に勧められて学生時代の思い出にと軽い気持ちで応募したという。「まさか私が：と思っていたので最終審査会でもほとんど緊張しませんでした。」と、テキパキした話しぶりが印象的。3歳の頃からクラシックバレエを習い続けているというだけあって、しなやかな身のこなしが爽やかだ。

翻訳の勉強に疲れたら、岡本界隈のショッピングで気分転換をするというファッショナブルなお嬢さん。「カジュアルな服装にも真珠をとり入れて、真珠をもつと身近なアクセサリーとして皆様に楽しんでいただけるようになるといいでですね。秋のヨーロッパ親善訪問はとても楽しみです。でも、慌てものなので注意しなくては。」昭和36年生まれ、乙女座の彼女、一粒の真珠のように、涼しく清楚に輝いている。（神戸ポートピアホテルにて）





こんにちはJCです。 vol.8



社団法人 神戸青年会議所

編集：社団法人神戸青年会議所・会務室広報企画委員会

〒651 神戸市中央区浜辺通5-1-14

神戸商工貿易センタービル内

TEL (078) 251-0085 (代)

新国際都市“神戸”的創造 神戸JCの果たすべき役割

神戸JCは各界から参加している25歳から40歳までの青年によって構成されています。従って、その特徴は、若さに溢れた行動力にあります。いかに立派な提言も、具体的な行動を伴わなければ、その実現には至りません。その点、JCは充分な調査と準備の上で、確実な行動を遂行するというところに最も力を入れています。その目標とするところは「豊かな社会」を実現することなのですが、神戸JCでは今年度、より具体的に、「新国際都市・神戸」の創造というテーマを掲げました。

港湾機能の変化により、神戸の從来から受け継いできた「国際性」にも質的な変化が起こりつつあります。しかし、神戸が神戸らしく、また、より豊かな街として、今後も引き続き発展してゆく為には、やはり、この「国際性」と深い関りを保ち続けてゆくことが重要な要素ではないでしょうか。



1月25日結集した ALL・KOBE・JAYCEES

神戸はかつて、世界への人や物の出入口として、最も早く異国文化に触れることが出来る場所でした。ところが現在、人は航空機で出入りします。物もコンテナ化によって、荷解きや仕分け作業の多くが省略され、港は通過地点となりつつあります。

世界的にも、第三次、第四次産業が重要な役割を果たし始めた今日、神戸がこれまでの様に、単に港に頼って、その「国際性」を保ち続けることは非常に難しい時代になりつつあります。が、神戸が豊かな都市であることは、そこに住む人々に快適

な生活をもたらし、関西全体の活力にも繋がってゆく信じています。

京都が、素晴らしい文化遺産に象徴される如く、伝統を受け継ぐ都市なら、大阪が、浪華魂の商人の都市であるなら、神戸は国際感覚溢れる都市というのが最も相応しいのではないかでしょうか。

本年度25周年を迎えた神戸JCは、神戸をより豊かな町にする為、新しい国際性の創造を目指し、特に「人づくり」という角度から、ALL・KOBE・JAYCEESの総力を挙げて今後共取り組んでゆきます。

在野に遺賢あり——佐本進

（小児歯科医
シアター・ボシエット館長）

カメラ・米田定蔵

一歯科医がシアターを持つ！ そこから騒ぎは始まつた。「また悪い病気が始まつた」やら、「市会議員にでも立候補するつもりか？」などと外野のかまびすしいこと。何しろ前科持ち。11年前、普通の歯科医から、「小児歯科」という先駆分野に足を踏み入れる。当然親類縁者の非難ゴウゴウ、それもカエルのツラにナントカで、今日まで来てしまつたいきさつがあるから、「また悪い病気が……」である。

今度は「実験交流サロン、シアター・ボシエット」（100人収容）を、7月10日自宅に完成させたのだ。演劇、音楽、舞踊、映画等を望む先生曰く「知性と感性がクロスオーバーする場にしたい。創造こそ、最高の美学であり哲学です。無感動の時代に感動の仕掛けができる、と思う。個人管理だから、土、日曜日しか提供できないが無料です」。

一方、医学でも脳傷害治療で有名なアメリカのドーマン博士と親交を結び、競馬で転落した天才騎手、福永洋一さんを同博士に紹介もしている。本職の小児歯科では訪れる患者の平均年齢3歳半。日本で最も低年齢の患者を相手にする先生は、子供の泣き声を耳底に残しながら、毎夜、一人酒場で酒を飲む。

「シアターは、まったく、道楽、ウン、趣味」と、照れと謙遜ばかりの、現代の「赤ひげ」先生である。47歳。



★ある集い

KOBE
WOMEN'S
CLUB



京阪神在住の外国人婦人親睦の場として、大正三年に発足した“土曜日朝クラブ”が、KOBE WOMEN'S CLUBの前身で戦争中は一旦中断されたものの、六十年からの歴史を持つている。大正末期及び昭和三十年代の日本のかなき時代には、それを反映してクラブも華やかに活動されていた。不況時代を迎えた近年は会員数も減り、旧いメンバーからは寂しくなったとの声もあるが、会は日本の文化・芸術・生活・商品等をテーマとした各種行事を毎週火曜日に開催し、さらに春と秋にはメイン行事を実施している。

毎年九月から例会が開かれ、各プログラムを五月までこなし、夏休みは本国へ帰つたり、子供が休みになるのでクラブも休会される。年一回のバザーでは、出品する品物を作るため、例会日以外にも会員の家に集まつて教え合い、その利益を付近の施設に寄付している。活動を通じて会員相互が交流を持ち、理解を深めることがプログラムの目的達成に通じている。

写真は五月に催されたファッショショニーで会員がモデルを演じ（株）ダイエーグループの夏物衣料を紹介した。アクセサリーのコーディネイトや舞台での振り付けなど即席とは思えないモデルぶり、加えて笑顔がチャーミングだと拍手喝采を浴びていた。

（合せて35頁もお読みください）

神戸・天津友好都市提携十周年記念祝賀パーティ



祝賀パーティには地元神戸市側から行政・経済・文化を通じて日中友好を願う人が多勢出席した（中央は李天津市長）

●コウヘスナップ



神戸・天津友好都市提携10周年記念祝賀パーティ 次の新たな時代へスタート

神戸市が中国・天津市と友好都市提携を結んで今年で10年になる。それを記念して天津市友好代表団一行6名（団長・李瑞環天津市長）が来神。6月24日、神戸国際交流会館で祝賀パーティが開かれた。佐野雄一郎神戸市助役は「この10年間にはポートピア'81に外国館としては最大規模で天津市が参加し、“パンダ大使”

を派遣してくれるなど活発な交流があった。今日を新

しい出発の日として交流がさらに発展することを願う」といさつ。一方、李天津市長は「10年前、両市は中日両国で初の友好都市提携をした。天津市は中国の経済の中心地であり、経済戦略上、重い任務をかかえているが、今後も神戸市との間で、経済、技術、貿易の交流を深めたいし、その実現に努力する」と述べ、石野信一神戸商工会議所会頭の音頭で乾杯となった。

石野神商議会頭（右）との間で盃がうち鳴らされた

佐野神戸市助役（真中）と握手がかわされた

あいさつをする李瑞環天津市長



□'83パールプリンセス最終審査発表会

パール・シンティ神戸から世界へ 「海の宝石」真珠の女王誕生

ヴィーナス

FESTIVAL
IN
KOBE



陳舜臣さんから認定証をうけてニッコリ



王冠を頭に、喜びの加本さん

今年で第3回を迎えた「海の宝石」——真珠の女王、「'83パールプリンセス最終審査会」が6月17日神戸国際交流会館メインホールで行われた。

その前夜、16日には神戸オリエンタルホテルにおいて、主催の日本真珠振興会（会長・田崎俊作）の関係者約300名の見まもる中全国各地からの応募者1275名のうち、最終審査に残った美女29名がお目見得、華やかに前夜を祝った。

最終審査会は、午後6時から岡田真澄の総合司会で、軽快な音楽とともに総勢29名がピンクのレオタード姿で登場、爽やかなオープニングとなつた。審査委員長の内海重典宝塚歌劇団理事をはじめ、元ミスユニバース・児島明子さん、作家の陳舜臣さん、宮岡寿雄神戸市助役、同志社大講師・中村友一さんらの巧妙な質問に、ユニークな返答も飛びかって満場の会場内は熱気で溢れ返つた。

もんた＆ブラザーズの歌にひきつき、カラフルなイブニングドレス審査の後、代表パールプリンセスに加本夏紀さん、パールプリンセスに榎本里美さん、武智麻美さんが選ばれた。

